

項目	1300	1330	1400	1430	1500	1530	1600
演習の構成	○各市町村の状況把握 ○県の対応意思の決定、指導	○総合的対応態勢の確立（監視警戒体制等）		○被害状況の把握		○広報、民生の安定	
共通状況	1245 県災害対策本部設置 15 #1噴火(ごく小規模) 18 緊急火山情報第2号	45 緊急参集チーム会議 45 #2噴火(中規模) 48 緊急火山情報第3号	03 臨時火山情報第4号	35 政府・非常本部設置 30 #3噴火(大規模) 33 緊急火山情報第4号		30 臨時火山情報第5号	
特別状況 (被害状況等)	○3箇町村が自主避難勧告発令 ○自衛隊への災害派遣要請	○大倉山北側スキーヤー未帰還 ○松尾村、スキー客の避難状況不明 ○自衛隊へ到着予定 ○警察・消防が県へ緊急援助隊等の要請を要求	○滝沢村から県へ、警戒区域の設定及び区域への進入についての調整を要求 ○盛岡環状線、交通事故発生	○火山灰の降灰による被害(木造家屋の倒壊) ○避難経路上で交通渋滞、事故発生 ○火山泥流の発生による被害 ・人、家屋、橋、道路等		○被害の大きい3箇町村が緊急輸送路の確保、今後の予測等を要請	
県災害対策本部の活動	○被害概況調査準備 ・調査体制の編成と任務区分 ・航空偵察の組織化 ・通信手段、安全確保 ○本部員会議 ・本部長へ状況報告 ・避難勧告助言の検討 ・関係市町村の状況の把握と連携 ○火山検討会の学術的助言 ○自衛隊派遣調整(LO) ・派遣優先順位の判断 ・勢力、活動拠点の調整 ○警察(広域緊急援助隊)の調整 ○消防(緊急消防援助隊)の調整 ○安否情報対応窓口の設置・編成 ○業務開始 ・住民、マスコミ等への伝達 ・関係部署及び依頼者への連絡、重要事項の記録	○ハザードマップによる被害予測 ○市町村への助言、調整と統制(勧告地域、時期、警戒区域) ○実行状況の確認(報告の要求)	○緊急退避支援(市町村からの依頼受け時、一般住民と災害弱者、緊急退避場所・一般退避場所への誘導) ○全体像の把握と優先順位の判断 ・輸送手段の確保と経路の選定、特に地元消防による誘導 ○ヘリ運用調整 ・偵察、救助、捜索等	○被害概況調査 ・重要情報の迅速な報告 ・情報の共有化、総合化 ○状況により2次・3次の派遣要請 ○救助活動総合調整 ・救助活動(スキー場、泥流による孤立者等)	○交通規制と並行した道路整備 ・逐次の被害情報の入手と安全確保 ○全体の交通網の検討 ○夜間作業等の為の照明装置等の準備	○本部長記者発表 △噴火状況 △被害状況 △県の今後の対応 ・被害予測 ・孤立者の確認救助 ・監視の継続	
盛岡地方支部の活動	○被害概況調査準備 ・調査体制の組織化 ・通信手段、安全確保 ○輸送の確保について県への意見提出 ・通行可否と交通規制、迂回路等 ○情報収集編成の組織化 ○河川及び砂防 ・情報収集編成の組織化	○ハザードマップによる被害予測 ○県の指示を受けての交通規制 ○道路整備業者の手配 ○ハザードマップによる被害予測 ○道路パトロールの実施	○警察等と連携した交通規制 ○道路整備業者の手配	○被害概況調査 ・重要情報の迅速な報告 ・情報の共有化、総合化 ○交通規制と並行した道路整備(火山灰、汚泥の除去、安全確保) ○被害情報の入手と報告 ○担当地域の交通網の検討と県への報告 ○夜間作業等の為の照明装置等の準備	○交通規制と並行した道路整備 ・逐次の被害情報の入手と安全確保 ○全体の交通網の検討 ○夜間作業等の為の照明装置等の準備		
工事事務所火山災害対策支部の活動	○砂防 ・情報収集体制等の構築 ○砂防対策係、遊水池対策班との継続的な情報連絡 ○砂防監視状況の継続的な把握 ○火山、気象情報の収集と伝達(県、国現地調査員等) ○盛岡地方気象台との連絡 ○砂防災害の予測(ハザードマップに基づく) ○監視カメラ及び監視による継続的な監視	○砂防 ・情報収集体制等の構築 ○砂防対策係、遊水池対策班との継続的な情報連絡 ○砂防監視状況の継続的な把握 ○火山、気象情報の収集と伝達(県、国現地調査員等) ○盛岡地方気象台との連絡 ○砂防災害の予測(ハザードマップに基づく) ○監視カメラ及び監視による継続的な監視	○警察等と連携した交通規制 ○道路整備業者の手配	○被害概況調査 ・重要情報の迅速な報告 ・情報の共有化、総合化 ○交通規制と並行した道路整備(火山灰、汚泥の除去、安全確保) ○被害情報の入手と報告 ○担当地域の交通網の検討と県への報告 ○夜間作業等の為の照明装置等の準備	○交通規制と並行した道路整備 ・逐次の被害情報の入手と安全確保 ○全体の交通網の検討 ○夜間作業等の為の照明装置等の準備		